

The Partner for Success

第47期 中間ビジネスレポート

2022年4月1日～2022年9月30日

株式会社 図研

証券コード 6947



エンジニアリングITカンパニーとして、 MBSEを核に事業領域をさらに拡大します

株主の皆さまには、平素のご厚情に心より御礼申し上げます。第47期中間ビジネスレポートをお届けするにあたり、業績および事業活動に関してご報告いたします。

代表取締役社長 谷内 徹也

業績について

当中間期の経済環境につきましては、ウクライナ情勢の長期化による影響などから先行き不透明な状況が続いているものの、経済活動の制限緩和や正常化が進んだことにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。当社グループの主要なお客さまであるエレクトロニクス製造業、自動車関連・産業機器製造業におきましては、設備投資全体は底堅く推移しており、IT投資も活発な状況が続いております。

このようななかにあって、当中間期の売上高は、161億3百万

円（前年同期比 7.5%増）となり、前期に続き、上半期として過去最高となりました。特に、日本や欧州においてデータ管理システムDSシリーズが堅調に推移したことや国内子会社のネットワークセキュリティ関連製品の販売が好調だったことから、ITソリューションの売上が大きく伸びました。

利益面につきましては、営業活動の活発化や開発投資の拡大などによりコストが増加したものの、売上が伸長したことから、営業利益18億9千2百万円（前年同期比 2.2%増）、経常利益20億9千3百万円（前年同期比 7.1%増）となり、2期連続で

過去最高を更新いたしました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億1千4百万円（前年同期比 4.3%増）と増益となりました。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な政策と位置付け、安定した配当の実施を基本方針としています。当期の中間配当金につきましては、1株につき20円とし、年間配当は40円を予定しています。

今後の取り組みについて

モノづくり企業がDXを加速するなかで、当社が果たすべき役割を担うべく「エレクトロニクスの図研」「CADの図研」から「エンジニアリングITカンパニー」へと着実な歩みを進めています。

従来、推進してきたMBSE^{*}によるモノづくりプロセス改革が自動車業界でいくつか案件化しており、この実績をベースに他の業界にも展開し、MBSEソリューションを核とした事業領域をさらに拡張していきます。また、DXの基盤となるPDMやPLMのデータエンジニアリングの領域においても、電気設

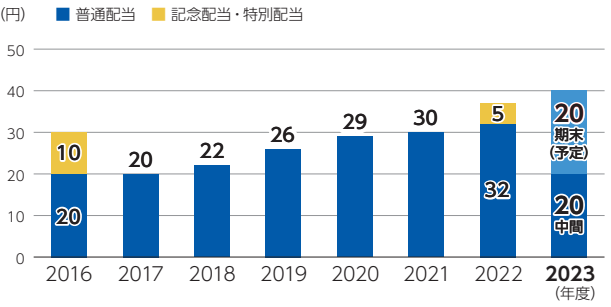
計のデータ管理で圧倒的な実績を持つDSシリーズを中心に課題解決型のコンサルティングサービスを展開していきます。

このような事業拡大において源泉となるのが人材であり、女性活躍推進やDX人材の育成、リスクリングの促進などにより、人的資本の拡充にも取り組んでまいります。

株主の皆さまには今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

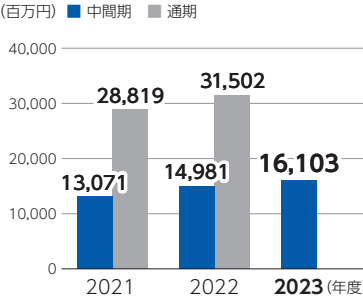
^{*}MBSE：モデルベース・システムズエンジニアリング(P.3 参照)

配当金の推移

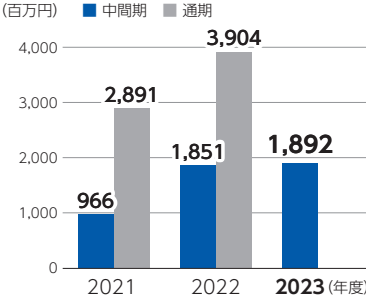


連結財務ハイライト

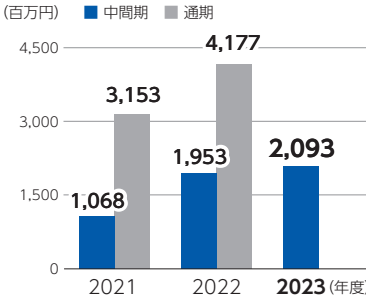
売上高



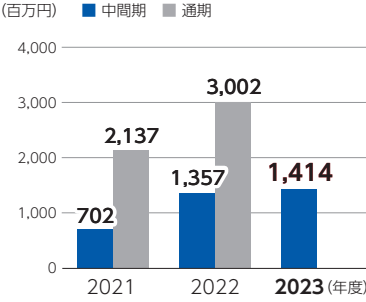
営業利益



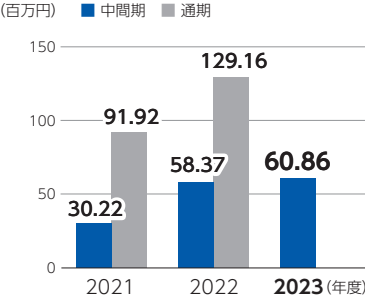
経常利益



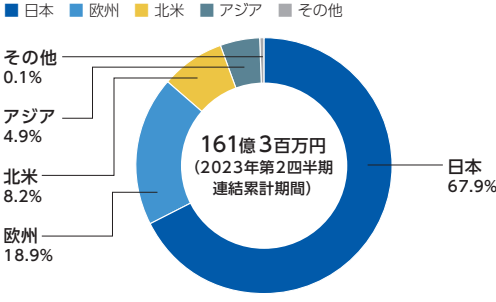
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



1株当たりの四半期 (当期) 純利益



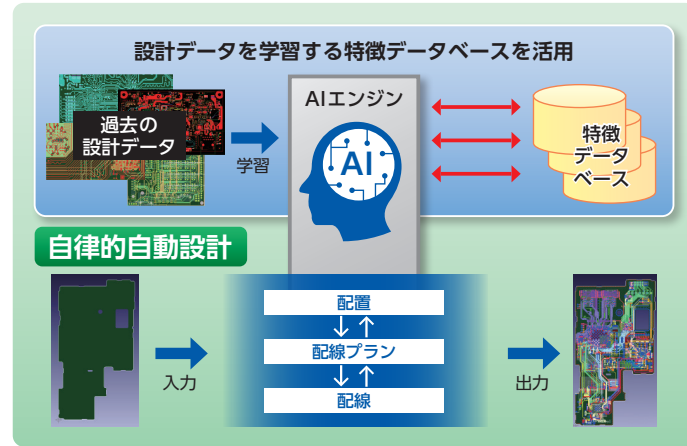
地域別売上高



世界初のEDA技術とAI技術の融合 Autonomous Intelligent Place and Route

図研の主力製品であり、エレクトロニクス製品の基板設計を支援する「CR-8000 Design Force」の新機能として、AIを活用した自律型の自動配置配線システムを発表しました。

近年の電子機器の小型化・複雑化の加速とともに、基板設計に求められる品質とスピードが高まり、AI活用による設計効率化への期待が高まっています。図研では、機械的な自動配線ではなく、人手に近い自動設計を目指し、独自のAI技術により過去の設計データを学習し、設計者の嗜好・特徴を反映した配置配線を行う自律型の自動配置配線システムを開発しています。初期リリースでは、図研による学習済み特徴データベースを利用した自動配置配線のほか、模倣配線などの対話型のAI配線機能も提供します。この新機能は、2023年3月より順次提供を開始する予定です。



Autonomous Intelligent Place and Route

AIを活用した新しい自動配置配線のプラットフォーム

MBSEモデリングツール「GENESYS」の最新版をリリース 機能性と操作性の向上を追求し、国内向けMBSE導入を促進



あらゆる製品が「つながる」ことによって新たな価値を提供し、製造業のお客さまが開発すべき製品がますます複雑化・高度化するなか、システム開発を成功させるアプローチとして、MBSE(モデルベース・システムズエンジニアリング)※への注目が高まっています。

2022年9月、図研はMBSE導入の核となるモデリングツール「GENESYS 2022」をリリースし、日本市場向けに提供

を開始しました。この最新版では、日本のお客さまの声を多く反映し、機能性と操作性の向上、パフォーマンスの強化により、ストレスフリーな設計環境実現に向けたバージョンアップをしています。今後、自動車業界を中心に、幅広い製造業への導入提案を加速していきます。

※MBSE(モデルベース・システムズエンジニアリング)：電気・機械・ソフトなど複数の専門分野が複雑に関連し合うシステムの開発を成功させるためのアプローチ(システムズエンジニアリング)をデジタルモデルを活用して行うこと

3年ぶりに「Zuken Innovation World」を横浜でリアル開催 人気のオンラインイベントもプログラムを拡大して同時期に開催

ZUKEN digital SESSIONS 2022



ZUKEN innovation WORLD

2022年10月21日に、通算28回目を迎える図研のグローバルイベント「Zuken Innovation World(ZIW)」を3年ぶりに開催しました。また、ZIW開催見送り期間にスタートしたオンラインイベント「ZUKEN digital SESSIONS(ZdS)」も10月13日～28日に開催し、多くの製造業の経営層・設計者

の方々に参加いただきました。

ZIWでは、村田製作所様、ソニーグループ様の特別講演や、「全社開発環境刷新」をテーマとしたお客さま事例講演が行われたほか、最後の懇親会では、リアル開催ならではの参加者同士の交流や情報交換をお楽しみいただきました。

オンラインのZdSでは、8つのお客さま事例をはじめ、図研の事業ビジョンや技術戦略・新製品の発表など、計41のセッションをオンラインで提供しました。開催期間中の総参加者数が約2,800名と全国各地から多くのお客さまに視聴いただきました。

Zuken Innovation World 2022年10月21日 横浜ベイホテル東急にて開催 総参加者数 約330名



3年ぶりのリアル開催で、盛況となった会場



講演者の生の声を求めて、多数ご来場

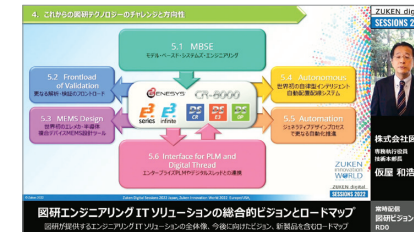


懇親会でご挨拶する 代表取締役社長 勝部 迅也

ZUKEN digital SESSIONS 2022年10月13日～28日 オンライン開催 総参加者数 約2,800名



お客さま事例やアカデミックなど、図研イベントならではの貴重なセッションを提供
(産業技術総合研究所 持丸様のセッションの様子)



図研からは事業ビジョンや技術戦略、製品開発ロードマップなどを発表



視聴アンケート回答者に様々なプレゼントが当たる「プレゼント抽選会」をライブ配信

デジタル×エレクトロニクスの二刀流を育てる 人材教育制度を強化

図研テックは、社員の働きがいの向上と製造業のお客さまへのさらなる貢献を目指し、デジタル人材の育成に向けた仕組みや制度づくりを強化しています。AIやデータサイエンスなどの技術を使うために必要な知識（デジタルリテラシー）に加えて、図研テックの独自の強みを活かし、EMC設計や熱設計などエレクトロニクスの知見を兼ね備えた、デジタルとエレクトロニクスの“二刀流”ができる人材をテーマに、eラーニングの教育プログラムや社内資格認定制度を整備しています。



社内認定資格のオープンパッチの一例。資格取得者にパッチを授与し習得スキルの証明として活用



図研アルファテックの展示ブース

「関西 設計・製造ソリューション展」出展

図研アルファテックは、2022年10月5日～7日にインテックス大阪（大阪市）で開催された「第25回関西ものづくりワールド」内の「設計・製造ソリューション展」に出展。設計図面のデータ活用や、2D-3Dのシームレスな設計に課題をお持ちの製造業・建設業の方々が多数来場されました。同社は“.dwg設計資産”の価値を高められるよう、設計業務の「+α」となるソリューション提案を強化しています。

映像を活用した セキュリティシステム構築を支援

図研エルミックは、監視カメラなどネットワークセキュリティ機器の国際標準規格であるONVIFのProfile M実装用ミドルウェアのライブラリ製品をリリースしました。様々な業界で安全管理面での映像活用が進むなか、本製品は、たとえば駐車場や入場ゲートなどで、顔認証の映像解析ツールとセキュリティ機器を連携させた映像ネットワークシステムの効率かつ迅速な構築に貢献しています。



身近な映像ネットワークシステムの構築に力を発揮

米国で3年ぶりのリアルイベントを開催 業界の情報交換や技術交流の場を提供

Zuken USAは、2022年6月にお客さま向けイベント「Zuken Innovation World」をリアル開催しました。今回は、MBSEモデリングツールを開発・販売するZuken Vitechのイベント「Integrate22」と合同で、70以上のセッションと、製品の展示や製品相談会などを用意しました。3日間の開催で、多くのお客さま、パートナー、業界の専門家が一堂に会し、リアルならではの企業間コミュニケーションや技術交流などをお楽しみいただきました。



ZIW2022 + Integrate22 ハイライト

サステナビリティページを公開

当社Webサイトの「図研について」の中に、サステナビリティに関する基本的な考え方や取り組みなどをご紹介するページを公開しました。

当社と社会の持続的な成長に向けた、経営ビジョンや優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）、環境・社会・ガバナンスにおける具体的な取り組みなどを掲載しています。今後も図研グループのサステナビリティに関する情報を発信していきます。

取り組み事例 次世代エンジニア支援

「学生フォーミュラ日本大会2022」に協賛

学生たちが一人乗りのフォーミュラカーを企画・設計・制作し、その総合成績を競う学生モノづくりコンペティション「学生フォーミュラ」に協賛し、大会運営や未来のエンジニアたちのモノづくりを支援しています。

学生フォーミュラ 公式サイト
<https://www.jsae.or.jp/formula/jp/>

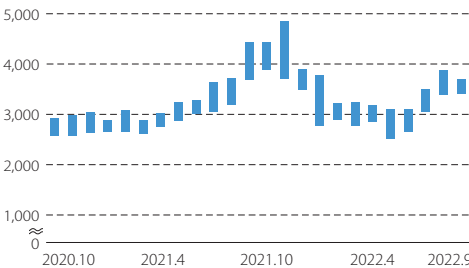


株主情報（2022年9月30日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	86,525,700株
発行済株式総数	23,267,169株
株主数	8,213名

株価推移（円）



大株主（上位10名）

株主名	所有株式数 （千株）	自己株除後 持株比率（%）
金子真人ホールディングス株式会社	3,240	13.93
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,638	11.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,467	10.61
金子真人	2,331	10.02
日本生命保険相互会社	723	3.11
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	700	3.01
和田扶佐夫	690	2.97
JP MORGAN CHASE BANK 385632	593	2.55
金子みね子	580	2.49
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	332	1.43

注：持株比率は自己株式（18,551株）を控除して計算しています。

会社情報 (2022年9月30日現在)

社名 株式会社図研 ZUKEN Inc.
 設立 1976 (昭和51) 年12月17日
 資本金 101億1,706万5千円
 株式市場 東京証券取引所プライム市場
 従業員数 437名 連結1,519名
 平均年齢 44.1歳
 URL <https://www.zuken.co.jp/>

取締役・監査役

代表取締役会長 金子 真人
 代表取締役社長 勝部 迅也
 取締役副社長 相馬 肅一
 取締役* 佐野 高志
 取締役* 荒井 洋一
 監査役 (常勤) 和田 扶佐夫
 監査役* 半田 高史
 監査役* 前波 吉伸

※は社外取締役および社外監査役です。

執行役員

専務執行役員 仮屋 和浩
 専務執行役員 上野 泰生
 執行役員 大澤 岳夫
 執行役員 早乙女 幸一
 執行役員 藤原 宏行

株主メモ

事業年度 4月1日から翌3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 公告方法 電子公告
 (当社Webサイト
<https://www.zuken.co.jp/e-koukoku/>)
 なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 および口座管理機関
 同連絡先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711



図研Webサイトのご案内

コーポレートサイト




投資家情報 (IRサイト)




住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
 口座をお持ちの証券会社にお申出ください。なお、特別口座で株式が管理されている株主の方は、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 図研



本社・中央研究所 〒224-8585 横浜市都筑区荏田東2-25-1
 センター南ビル 〒224-8580 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11
 新横浜ビル 〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1
 関西支社 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル
 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-23-20 HF桜通ビルディング

TEL: 045-942-1511(代)
 TEL: 045-942-1300(代)
 TEL: 045-473-6868(代)
 TEL: 06-6343-1141(代)
 TEL: 052-950-3671(代)



この報告書は、環境に優しい植物油系インキを使用しています。